

令和元年

市民と議会をつなぐ意見交換会

アンケート集計結果

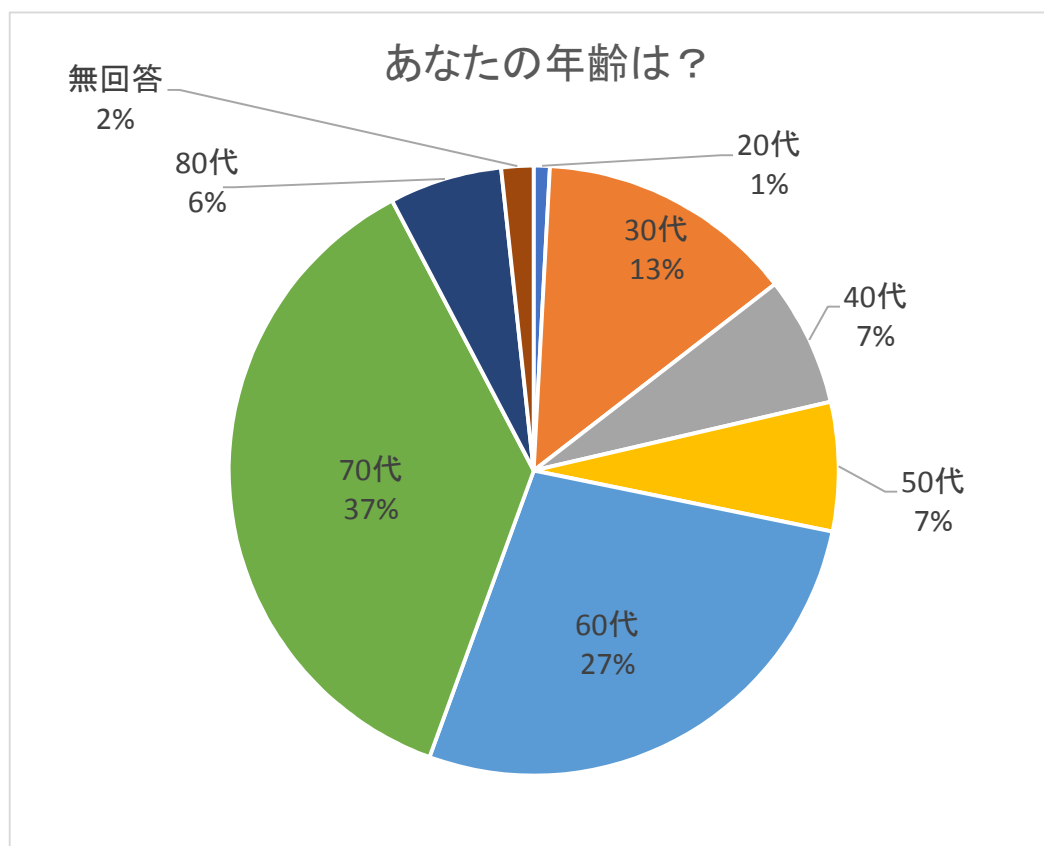
開催日	令和元年11月20日	経済建設委員会
	11月22日	総務財務委員会
	11月23日	厚生文教委員会
開催会場	三原市議会議事堂	
アンケート回収率	87.3%	
	(参加者数 134名	アンケート回収117)

三原市議会

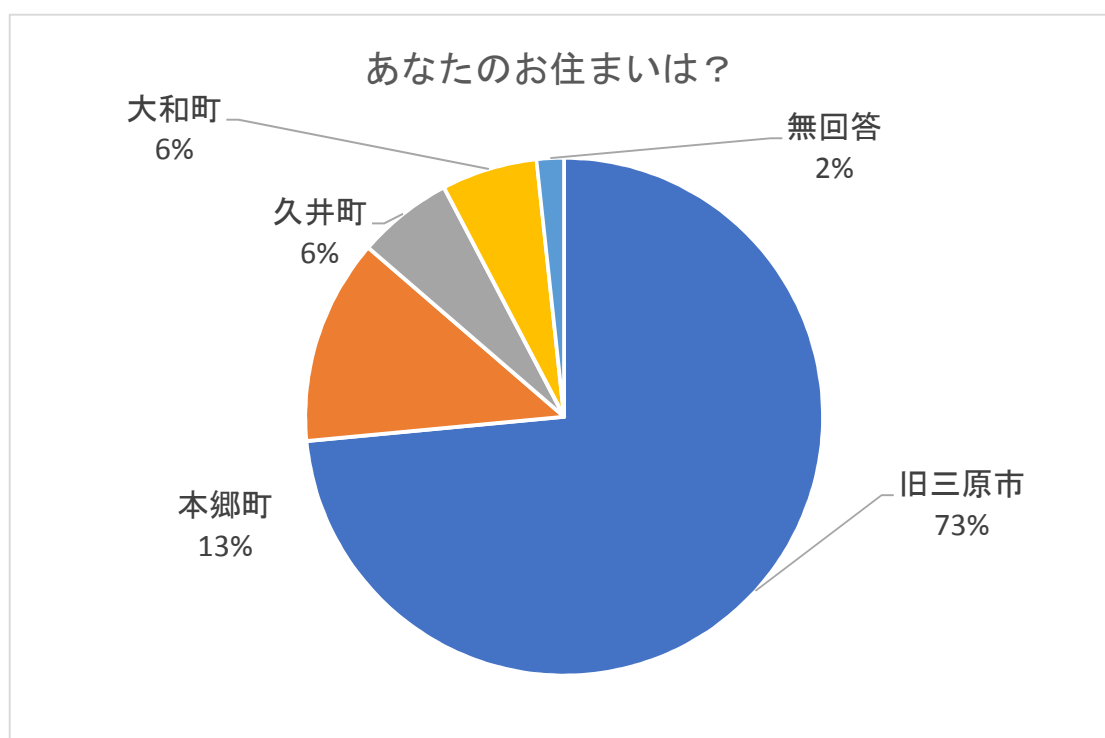
問 1：出席された意見交換会はつぎの内，どの意見交換会ですか？

委員会	テーマ	参加者
総務財務委員会	市民と議会で考えよう～「伝える」・「伝わる」市の情報～	38
厚生文教委員会	地域公共交通について～交通弱者の対策について～	40
厚生文教委員会	子育て・子育ち～三原で豊かな子ども時代を過ごすには～	20
経済建設委員会	中心市街地を活用した三原の観光戦略	19

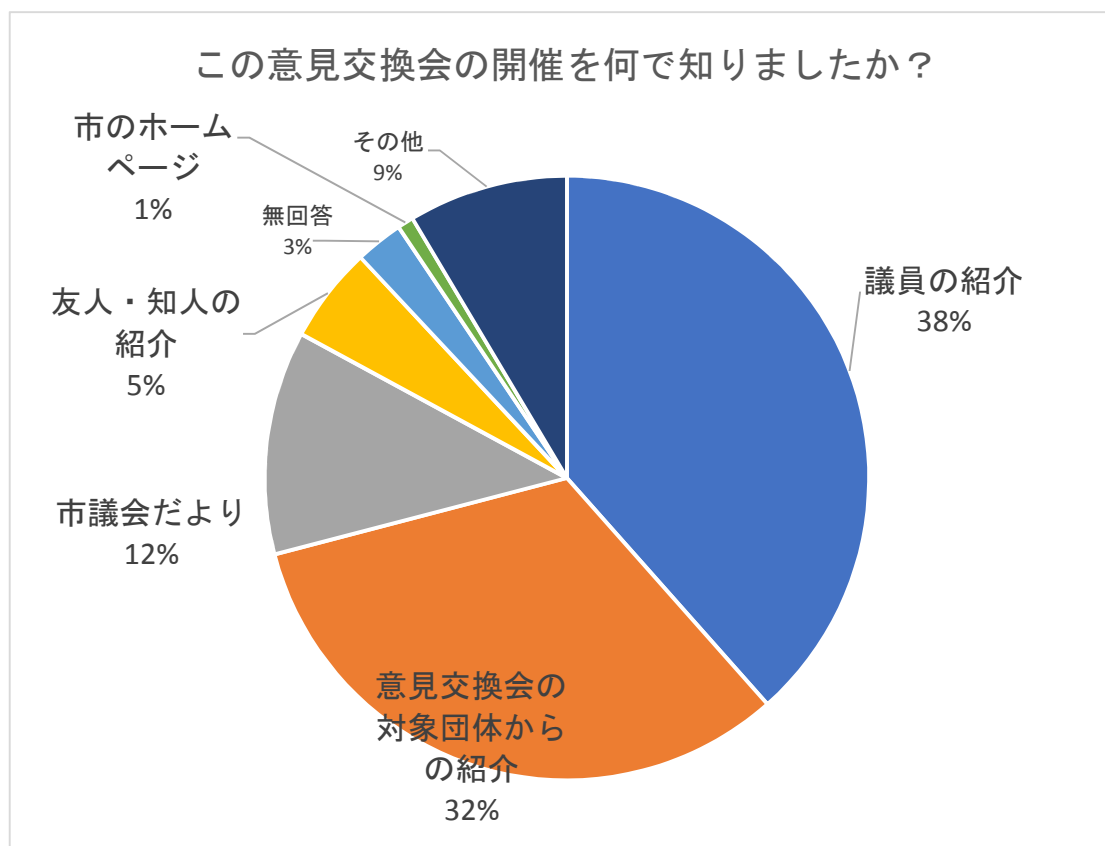
問 2：あなたの年齢は？



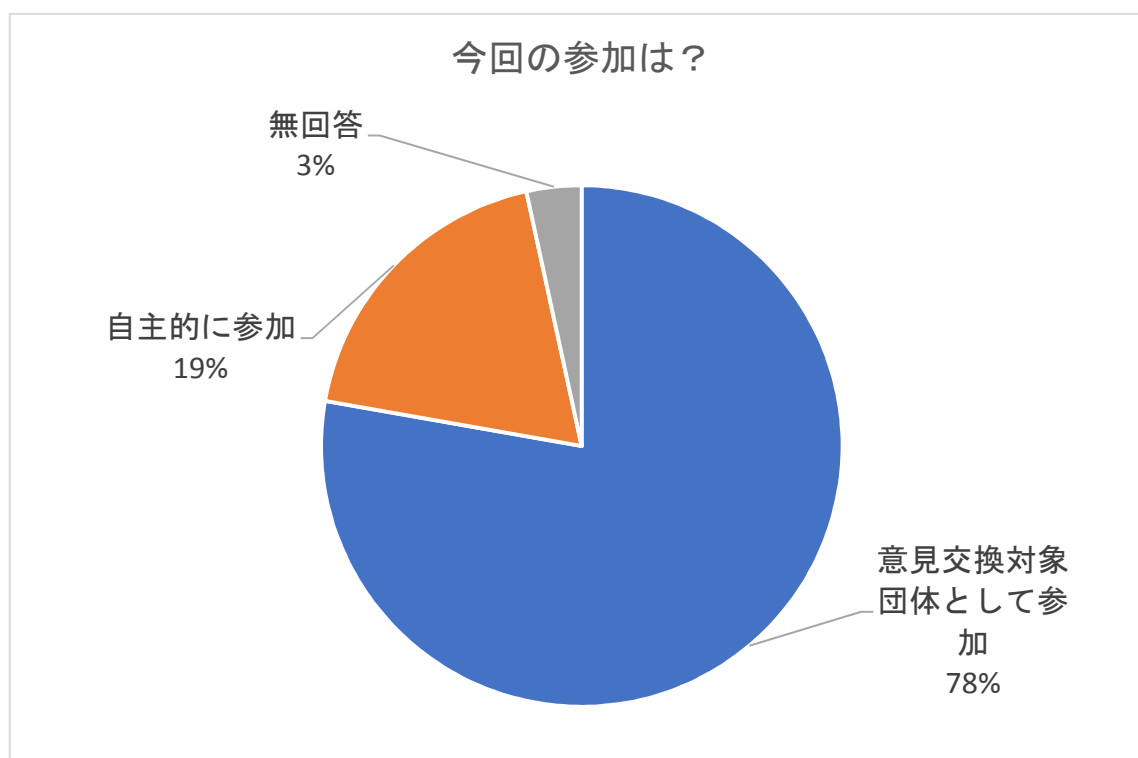
問 3：あなたのお住まいは？



問 4：この意見交換の開催を何で知りましたか？

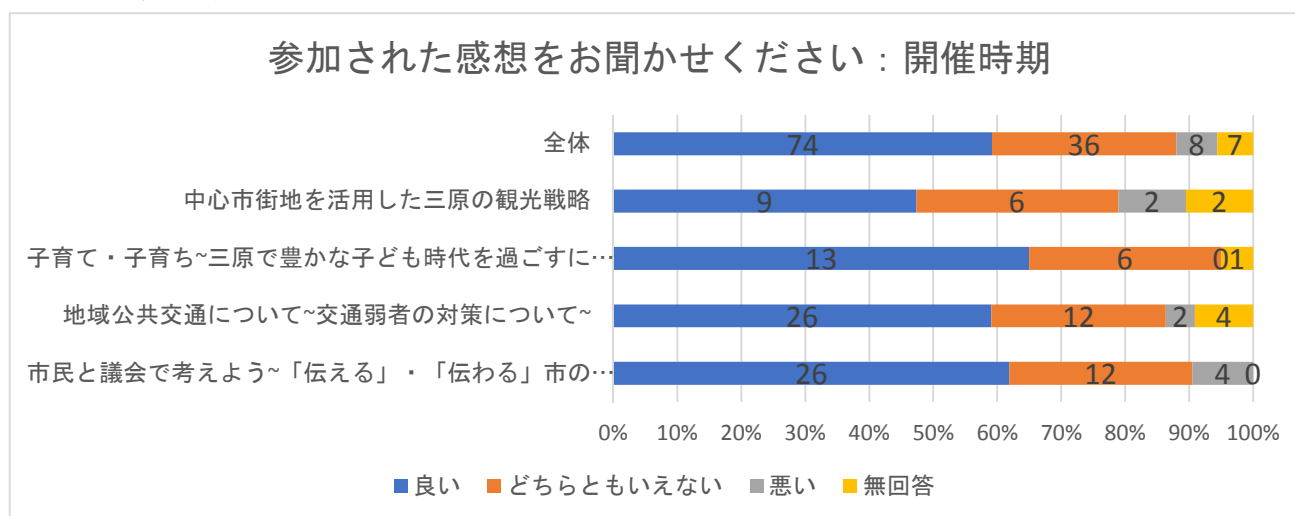


問5：今日の参加は？



問6：参加された感想をお聞かせください

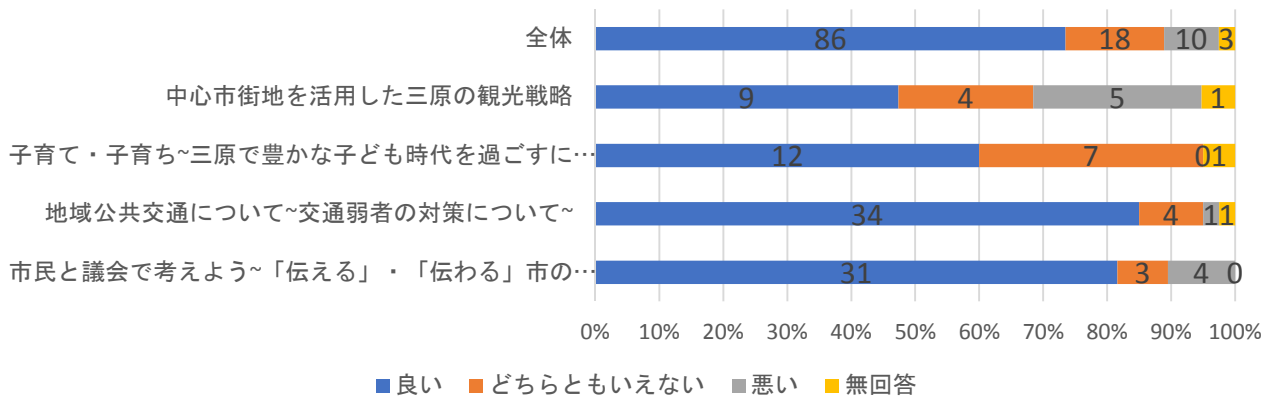
(1) 開催時期



次ページへ

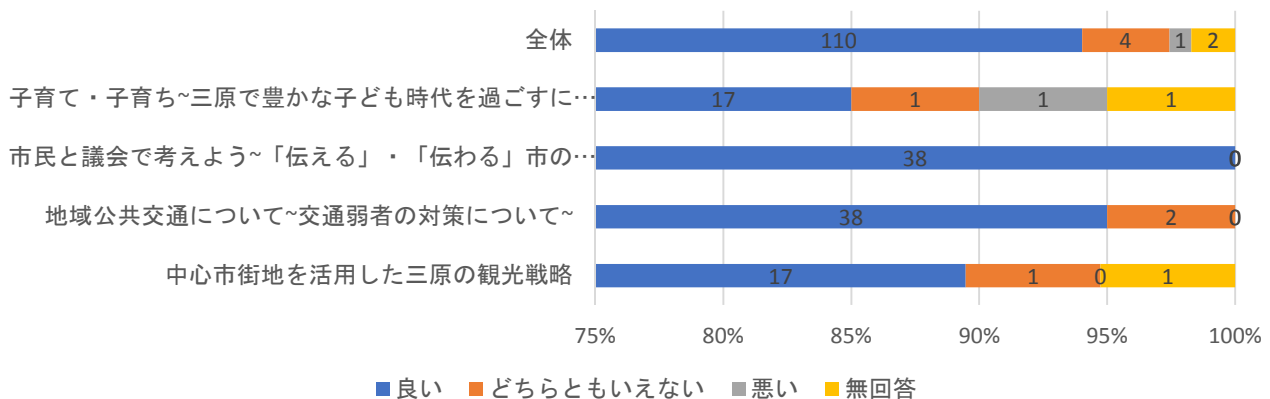
(2) 開催時間

参加された感想をお聞かせください：開催時期



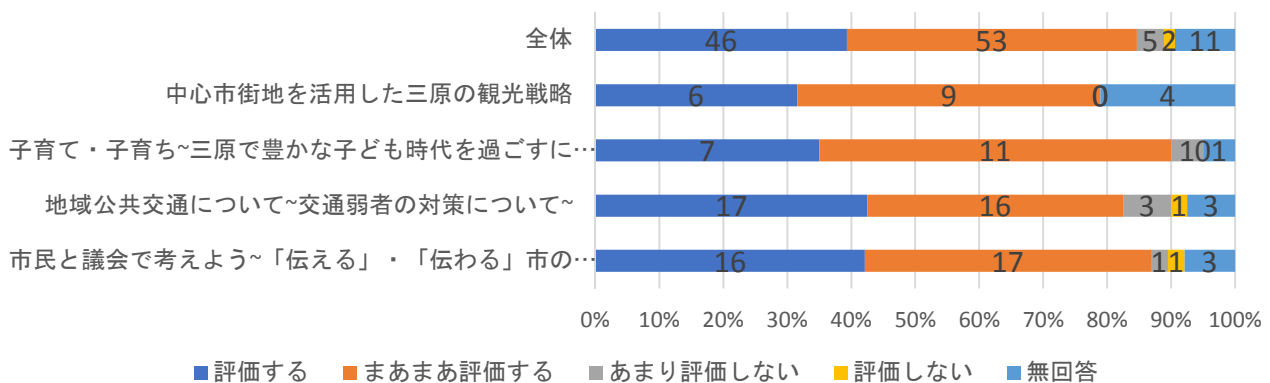
(3) 開催場所

参加された感想をお聞かせください：開催場所

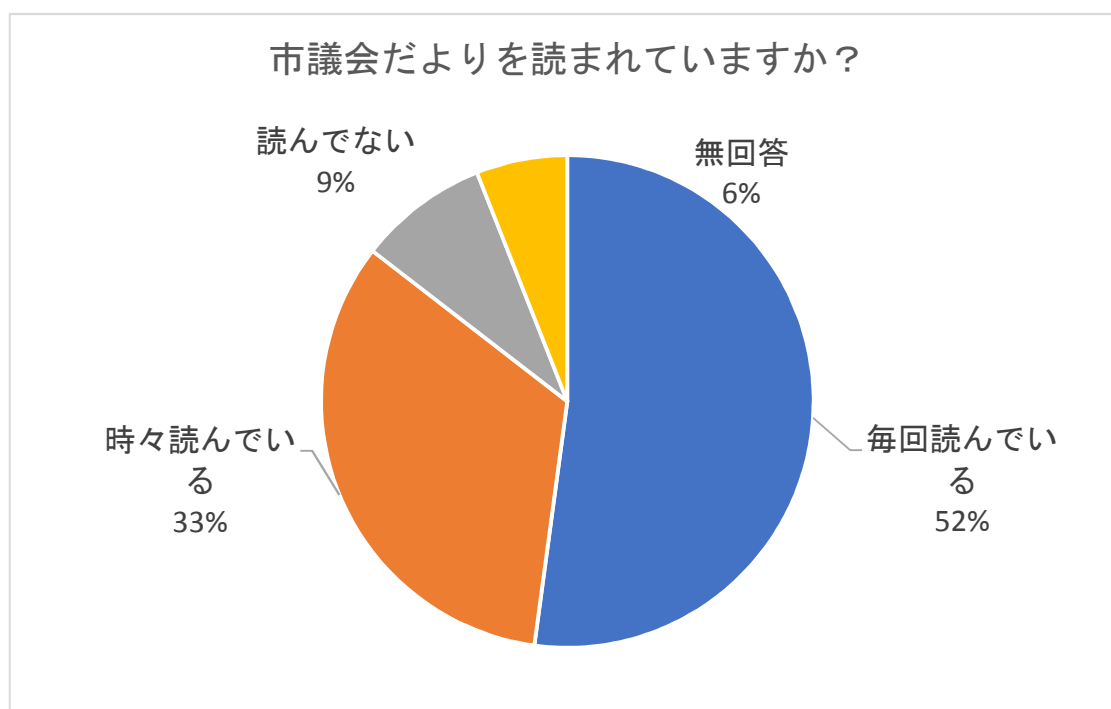


(4) 全体としていかがでしたか？

全体としていかがでしたか？



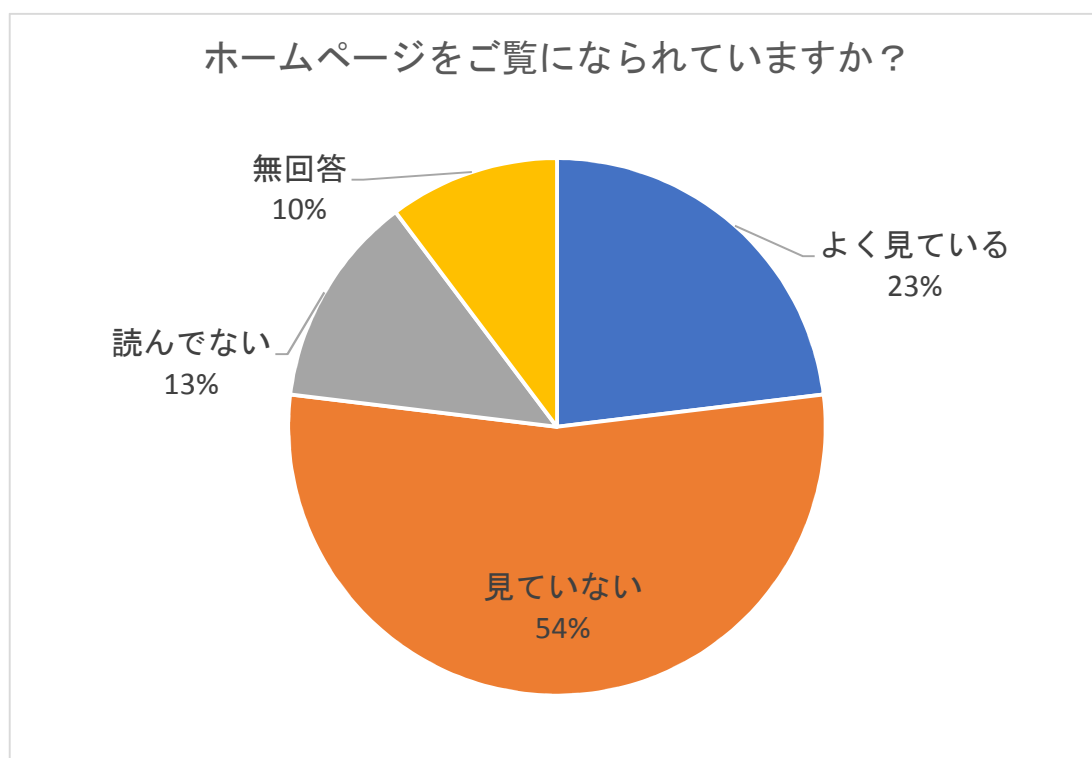
問7：「市議会だより」を読まれていますか？



感想をお聞かせください（自由記述）

- ・よい情報で理解しやすい。
- ・議会の質疑応答について具体的な市政の方針があまり伝わってないように思う。
- ・三原発展のために尽力されている様子がよくわかった。
- ・議員の質問に対する回答が市の担当からの説明の形式となっている。質問に対し納得のいく回答になっていない場合、その後、いつ回答されているのか明確にしてほしい。
- ・内容が多いので月一回でなく、月二回にするとより目を通しやすいと思う。
- ・直接関係ないもの、背景がわからないものが多いので理解するのに難しい。
- ・わかりやすい。
- ・議会の様子（質問）がよくわかる。
- ・議会の様子がよくわかると思います。
- ・議員，議会の動きを知る唯一の手段
- ・今後読みたい。
- ・わかりやすい内容で議会との架け橋になっていると思う。
- ・市政がわかるのでぜひ今後ともいろいろ知らせてほしい。

問 8：三原市議会のホームページをご覧になられていますか？



感想をお聞かせください

- ・時々見ている。
- ・見慣れたせいか見やすい。三原市の情報を得やすい。
- ・少し固いイメージ
- ・もっと見やすいホームページにしてください。検索事項を中々見ることができない。
- ・活用している。
- ・必要があるときのみ
- ・参考になります。
- ・地域毎の課題がわかります。
- ・情報が少ないように思う。
- ・知りませんでした。
- ・タイムリーに市政についての情報として参考にしています。
- ・ネットでの問題点として、つながりにくい所もある
- ・部課毎の新しいニュースが更新されており、よく整理できている。
- ・ビデオ録画は better
- ・更新を早めにしてください。
- ・要求したものにたどり着くまでに時間がかかる。分類が慣れない。課単位で掲示場所が違う。
- ・見方がわからない。
- ・市議会だよりを見ていないので、ホームページは見ない。
- ・努力しておられると思います。

次ページへ

- ・知りたい事項が発生したと時見ている。
- ・必要な情報に行き着くまでが簡単ではない。トップページにもっと三原をアピールできる内容、写真を掲載してほしい。
- ・見にくいので見やすいHPにしてください。知りたい情報にたどりつけない。
- ・見たい・知りたい情報がすぐ探せないことがある。
- ・いろんなイベントがわかるのもっと知らせてほしいです。

※注）三原市議会のホームページについての設問ですが、三原市ホームページのことと思われる意見もいただいておりますのでそのまま掲載しております。

問9：今後意見交換会で希望するテーマがありましたらご記入ください。

- ・新三原のランドデザイン～これが三原の生きる道～。例えば、「文学のまち尾道」、「芸術のまち倉敷」といった「～のまち三原」
- ・浮城の復活、水路。
- ・三原の求める方向性を考え、そのテーマを話し合う。（暮らしやすい健康福祉のまち、住みやすいまち、働きやすいまち、魅力あるすみたいまち）
- ・事業のアセスメントを市民中心に行う。偉い先生がまとめると市民に伝わらない。
- ・何にスポットを当ててるのか、1つ決めて全体で盛り上げていくためにはどのようにすべきか。
- ・介護についてテーマにしてもらいたい。高齢化のため。
- ・三原での就労。人口減少について仕事がないと移住も流出防止もなしえないから。
- ・三原食に対する考え方について。三原市民の満足度について。
- ・三原クルーズと三原駅前東館跡地のビル群の集積をどう市街地活性化に活かすか。
- ・少子教育と人口増への取り組み
- ・交通関係について
- ・豪雨災害の復旧状況（地域別に）
- ・自治会未加入世帯どうする。
- ・外国人対策
- ・年金に関しては税務署に行かないとダメでしょうか？年金に関して今後どうなるか心配です。市のテーマで取り上げればよいと思います。
- ・情報伝達方法について各地域の状況がわかりました。地元での情報提供の参考にしたい。
- ・市政の問題点に対する議会の役割
- ・高齢化率が増々高くなるとともに地域の活力が減少する。地域間でこの二極化が進んでいる。5年後、10年後には現在の地域間の合従連合が必要。地域のこれからについての意見交換会が必要です。
- ・三原市の活性化に向けての方策について
- ・介護制度全般について（高齢化のため）
- ・地域の課題・問題点をいろんな機会を通じてアンケートにしてほしい。

次ページへ

- ・地域共助について（目標・目的・あるべき姿等）
- ・三原が目指すもの（企業誘致・子育て・学校）
- ・人口減少
- ・三原市の人口増加（他からの移住）に必要な施策は？
- ・今日参加されている中で、市内の実績をもう少しみ取る発言を求めていただけたらと思う。
- ・地域コミュニティ交通は各地域の実情に合わせた対応をすべきであろう。
- ・行政と自治区長・町内会長の定期的な会議等の場がない。市の施設を説明する場として、地域の意見を吸い上げることができる、定期的な会議の場を設ける必要があると思う。
- ・一同に会する交流会も年1回は良いと思いますが、各連合町内会と個別的懇談がより有効と思われる。
- ・道路行政について
- ・三原の魅力開発のために。日本の中の三原をどう追求するか。
- ・駅前再開発完成後に、各町内会の代表に見学会を実施し活用についての意見交換会を。
- ・三原市の今後の方向性。何処に重点を置いて進めるのか。他市のまね事ではなく独自の進む方向は？
- ・企業（下請け企業への対応）の活性化、少数派の価値観を大切にしてほしい。
- ・未来の三原市
- ・今後、高齢者の免許返納が続くだろう。ふれあいタクシーの利用が増えると思われる
- ・生活弱者のことについて
- ・テーマを絞って。
- ・子育てにかかわるお金がたくさんかかるので、支援についてのテーマもいいかと思います。
- ・空家の有効化
- ・同じテーマで継続してください。
- ・食事アレルギーについて（対象児への対応）
- ・もう少しテーマを練りこんでください。

問10：本日の感想や議会に対するご意見、ご要望提言などを記入ください。

- ・2020年東京オリンピックも開催され観光というものに様々な人が目をむける年なので、三原も同じ方向をめざす戦略的な観光を頑張っていけばと思いました。
- ・勉強になりました。ありがとうございました。
- ・意見交換会の報告、あるいは今後このことをどう活かすか、皆様に知らせてほしいです。
- ・名ばかりの補助金情報だけのコンサルに任せるのではなく、このような機会を多く持ち、新しいみはらのグランドデザイン（これからの三原の生きる道）を導き出すことが必要だと思います。
- ・様々な戦略会議・委員会・有識者会議に商栄会連合会をお誘いいただきたい。
- ・このような意見交換会はとてもよいと思います。どんどんやってください。議会の力で三原が魅力ある、住んでよかったまちにしてください。

次ページへ

- ・普段お互いの意見を交換し、考えを聞く機会が全くなかったので良かった。多くの市民の方が、関心を持って参加されたことに、この会議の意義を感じた。税収を上げるには観光振興しかないと思う。
- ・2元代表制の矛盾に立ち向かっていく良い機会だと思いますが、参加者（発言者）の選考基準に問題がありませんでしたか？明確なビジョン（特に観光）が見えない中で、いきあたりばつりにならないように気を付けてください。中長期計画の中に観光をどのように織り込んでいくべきかが大事だと思います。三原駅前と観光の関係性がよくわかりません。誰か教えてください。
- ・とても良い活動をしていると感じました。初めての参加だったのですが、もっと市民が参加できるような広報を行うことで街全体を巻き込んでいけるのではないのでしょうか。
- ・なぜJRを呼ばない？市民と議会をつなぐ意見交換会なら、そのようにやらないとダメ。市民の意見は聞くだけ？
- ・議会で決定した事項について、どのように進んでいるのか、市民にわかりやすく説明してもらいたい。
- ・議会に対して漠然とした興味を持っていました。今回を機会に議会の動きや三原市の動きにより興味を持っていきたい。周りとも話す機会を持っていきたい。
- ・議題に対しての各議員の方々のお持ちのお考えを表にまとめておくとういと思いました。
- ・観光コンテンツの充実の中で、祭りの活用が挙げられているが、祭りの実行者、実施者の参加がなく、主催者の意見を述べる機会がないのが残念である。
- ・駅前が顔です。ぜひ市長（執行部）と議会が同じ方向で一つになって取り組まれている姿を期待していると思います。課題は多いですが、我々も頑張ります。よろしくお願いします。
- ・市議会の皆様の益々のご活躍を期待しております。
- ・年に2から3回を希望
- ・とても良かった。
- ・私も4月から町内の役員をしているので、今まで挨拶もしなかった人が挨拶をしてくれるようになりました。私も顔は知っているけど話したことがない人に、積極的に挨拶するようにした。やっぱり人と人とのコミュニケーションが大半だと思う。向かい合った時も、声がかかりやすいと思う。
- ・大変参考になりました。考えが深まってきました。
- ・SNS、スマホ等で情報把握する配慮が欠けている。災害を受けた人をゼロにすることの意見が欠けている。小学校区、中学校区単位でのきめ細やかな情報（避難勧告など）
- ・誰も取り残されない情報伝達というテーマは大変良いと思います。
- ・町内会加入率の低下の原因は何か明確でない。町内会の役員になりたくない、ゴミステーションの管理をしたくない等の分析はないです。市職員にしても町内会に入っていない方が散見される状態。マンション、アパートの住民は簡単にゴミステーションを設置でき、管理する人も住人でなく別の方が行っているため、町内会に入っている必要性がないと言い切っている。
- ・我が町内で参考にしたいというような意見がたくさんあり大変良かったと思います。私の町内では子供がいない、高齢者がほとんどです。やはり高齢者に対しての行政が必要だと思います。

次ページへ

- ・町内会で高齢者宅の災害情報が伝わりにくい。防災ラジオを配布後、町内会等で確認することが必要。伝達方法等で問題があるが、住民の避難意識の問題が現実。回覧物が届いたらその時点で回覧するのが町内会の業務だと思う。
- ・町内・自治体が主に会合を持っていけば良いと思う。
- ・市内各地が一様でないので、個別の意見は参考になった。二極化が進む中で、とり残しにならないよう町内会で議論を重ねたい。
- ・グループワーク方式で意見が多く出るように配慮し、議員の皆様が一名ずつ入っていただき取りまとめてください。
- ・本題テーマについての意見集約に注力すべき。
- ・良く考えておられる。
- ・市民から市議会に厳しい意見があり良かった。
- ・年に2から3回してはどうか。
- ・皆さん建前でなく真剣な参加ご意見でした。
- ・移動手段にタクシー利用割引券を導入してほしい。
- ・地域交通＝福祉を感じた。
- ・先進地事例はたくさんあると思うので、市・行政・地域が勉強していくしかない。人口減少で行政では行き届いたサービスは無理。その中でどうしていくか、市議会議員さんのアイデアをたくさん出し合ってください。
- ・各地域の活動状況が聞きことができ、勉強になりました。
- ・地域コミュニティ交通に対する期待は年々大きくなっている状況です。財政負担についても、十分に鑑みられながら、細やかな持続可能な制度でありますようお願いします。
- ・各地域の利用の実績に関する資料があると、各地域の発表内容がよく伝わったと思った。立派な発表であるだけにとっても残念に思った。利用者のニーズのしっかりした把握、継続して取り組み、今日のようない情報交流会は大切に思う。
- ・交通弱者の問題はこれからの課題になろうと思います。来年度からの見直しは住民からの意見を吸い上げ、予算・収支のことなどを十分検討して、より良い地域公共交通の方法を考えていただきたい。ふれあいタクシーなどをPRし、他の町も必要な地域に予算を使ってほしい。今日の報告等で収支の内容がよくわからなかった。
- ・開催時期は夏から秋が良い。遅くないか。地域交通は他の町に病院・買い物といった垣根を超える取り組みを検討いただきたい。
- ・意見の吸い上げは会として良かったが、今日の意見をどの様に感じてどう対応するのか各議員の意見も聞き、見える化を期待したい。

次ページへ

・10年後は、より高齢化が進み、市の中心部においても免許返納に伴い交通弱者が多く出てくる反面、自動運転の車も進化すると考えられる。そこで、当面の施策を早急に進める必要があると考える。今考えられることは、市（税金・公助）と自己負担に加えて、病院・商店街・商業施設に協力してもらい、そこから車を出してもらうことはできないか。市＋自己＋事業所がバランスをとって運営していく。病院・商業施設は患者や客が来るのでメリットがあるのではないか。他の課題として運転手の雇用が全国的に言われています。この課題も考えていくことが必要と思います。すべて公助（税金）で賄うのは無謀です。私の母が他市のデマンドワゴンで事故にあい、現在も生活に苦労しています。絶対に事故のないよう、タクシー会社等に委託する際も運転手の研修費を市が一部負担するなどして強化してもらいたいと思います。

・ありがとう。

・三原の観光活性化にもっと持続的な対応をする仕組み（市役所に常設の事務局をつくり、課題を市民ボランティアも入れて持続的に検討する）を作っていたきたい。

・各地区の取り組みが収集できたので大変参考になりました。

・今日はあまり意見を言えなかった。提案としてタクシー券の発行、各自治振興会へ市から車を貸与して運行することはどうか。

・町内会で日頃話し合っている点を2つ提案させてください。①『出かける交通』と『来てもらう交通』があると思う。今後は移動販売車のニーズが高まる。個人事業主として新たに参入する人への助成を考えてほしい。市内に何台の移動車が回ればニーズに対応できるのか試算を。②バス通学の高校生へ思い切った助成を。若者を大事にし、持続して暮らしてもらえるまちづくりを。

・他地区の現状等の意見を聞けて参考にして、考える方向も見えてきた。地域ネットワークの中で本交換会の意見を取り入れて行きたい。定期的に本交換会を開催してほしい。

・議員の方には負担は大きいでしょうが、以前のやり方の方が参加しやすいです。

・若い人との意見交換会を開催し、若い方の『夢や希望のある街づくり』を聞いてみたい。

・市民と議会をつなぐ意見交換会となっているのでしょうか？以前のような意見交換会の方がよかった。今後について検討していただきたい。

・文教委員の内容が広く感じる。もっと別の内容があるのではないか。現在の学校がどうなっているのか等。

・高齢者が増加の一方で、若者は日中仕事にてドライバー確保も大変であると思われる。

・70歳以上の100円で乗れるバス券をまた、コミュニティバスのない地域にタクシー補助をしてほしい。

・こどもの居場所・遊び場所をより広げていただけるように。

・今回の話でもありましたが、遊具がなくても自由に遊べる広場があるだけでもずいぶん違うと思います。

・もっと子どもたちが遊べる場所があってほしい。サロンとかいろいろな情報を伝えてほしい。知らない人がいると思う。

次ページへ

- ・今日の意見交換会がよい方向にむかった子どもの育ちやすい三原になってほしいです。
- ・それぞれの立場からのいろいろな意見とてもよいと思います。
- ・ワークショップ形式にしたほうが参加者は参加しやすい。話しやすいと思いました。活動されている団体の方は話し慣れているかもしれませんが、一保護者としては急にマイクで話すのは気が引けます。
- ・本日様々出た意見に何かしら回答を得られれば嬉しく思います。目に見える形で反映していただけることを望みます。
- ・子どもの遊び場も大切ですが、子ども達にいろいろな経験をさせてあげたいです。危ないことも大人が見守りながら、どうしたら危ないからこうしないといけないなどの体験ができるイベントも開いてほしい。交通安全講習会みたいな。
- ・幼稚園問題（公立）が少しでもよい方向になるように期待しています。
- ・子どもが地域行事に参加しやすい様に。
- ・もっと多くの意見が集まるように学校・幼稚園の単位でアンケートをとってみてもよいと思います。
- ・小中学校は不登校問題や安全の問題を。また、子どもの居場所問題は早い段階で取り組んでください。その前に親が問題ある家も多いのではと思うので、親の教育が必要な気がします。
- ・参加者が、多種多様な団体だったので、普段気にならない話題を聞くことができ参考になりました。その反面、深い話ができなかったのが残念でした。本日の意見交換が市政に反映されることを願っています。
- ・もう少し、グループで話しやすい感じでお互い意見交換ができればいいと思いました。要望書等、各団体が出していると思うので、それにも目を通していただければ、子育て世代も意見がわかると思います。

※ アンケートにご記入いただいたものをそのまま掲載しております。